

## < 変容する 「 経 審 」 >

『直営能力...基準日直前の営業年度における固定資産のうち「機械・運搬具」「工具器具・備品」の残存価格 1,000万円につき5点(上限20点)』、これは長野県の新客観点数(主観点数のこと)のひとつです。また同様の基準が徳島県にもありました(保有機械器具等)。国レベルでは、通常固定資産は少ない方が点数はよくなりますが、都道府県レベルではこの基準が入ると一概にそうとは言えなくなります。長野県において最高点になるには4,000万円必要なので、国と県で両方よくなることを考えると、規模の大きい会社が有利となります。固定資産を保有しないペーパーカンパニー等への対応と思われませんが、この指標で直営能力を判断するにはかなり違和感があります。しかしながらこれは長野県の意向であり、もちろん無視するわけにはいきません。このように、都道府県レベルでは建設会社に対する期待像を主観点数に加えているところが多くなってきているように思われます。そこで各都道府県で主観点数の項目にしているものをまとめてみました。





各都道府県で主観点数の項目が若干違いますが、項目として挙げられたものを分類してみると、工事成績、技術力、安全対策、社会貢献、雇用状況、建設業法違反にまとめられました。「経審」では平成6年に従来主観的事項として扱われていた「工事の安全成績」「労働福祉の状況」等について客観的事項として経営事項審査に加えられ、審査基準が整備されました。しかし各都道府県では、技術力の評価については国の基準ではまだ不足していると考えているところが多いようです。また、建設会社に対して社会貢献や地域貢献を期待している都道府県もあり、そういったものも主観点数に加えられています。

主観的事項で「攻め」の対応をするには、発注者の考えや今後の方向を十分に研究しなければなりません。各都道府県で対応はバラバラですが、いずれこの表のように収斂(しゅうれん)していくのではないかと考えております。その時にあわてないように今から準備しましょう。

WISENET編集部 松村 清 (税理士)

### 全国で採用されている 主な主観的事項一覧

各都道府県で主観点数項目として実際に採用されている主要なものです。但し、全ての項目が各都道府県で必ず実施されているというものではありませんので、ご了承下さい。

工事成績等	技術力等	安全対策	災害貢献、社会貢献等	雇用状況等	建設業法違反
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事施工成績</li> <li>・ 優良工事表彰</li> <li>・ 優良現場代理人表彰</li> <li>・ 工事件数</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ISO 認証取得</li> <li>・ 環境活動評価プログラムへの参加</li> <li>・ VE 提案</li> <li>・ 技術者の保有状況</li> <li>・ 技術的適性</li> <li>・ 研修受講</li> <li>・ 保有機械器具等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事安全成績、安全対策</li> <li>・ 建設業労働災害防止協会表彰</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会貢献、地域貢献</li> <li>・ 災害等貢献</li> <li>・ 災害応急対策</li> <li>・ 公共施設美化活動</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者雇用の状況</li> <li>・ 厚生年金基金加入</li> <li>・ 従事職員数(加点)</li> <li>・ 労働法等違反</li> <li>・ 建設業退職金共済掛金収納書の不提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業停止、許可取消</li> <li>・ 指名停止</li> </ul> 

**最新の建設会社データを盛り込んだ経審データ2月号ただいま発売中！申請書類がB4サイズからA4サイズへ！新書式対応のシステム、発売決定！！** 資料請求は下記にて！！

Wisdom 購入前デモ希望(無償)  
Wisdom 資料請求(無償) 新しい資料は3/8完成予定  
Wisdom デモCD希望(無償)  
送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)  
今後「Wise FAXNET」送信不要  
今後「Wise FAXNET」メール送信に変更希望

デモ希望、資料請求、送信先宛名変更、送信停止は、必要事項をご記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

**FAX.0269-65-4745**

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
TEL	FAX
今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入ください。	
e-mail	

「Wise FAXNET」は経審対策/書類作成システム「Wisdom(ウィズダム)」ユーザー様に経審に関する最新情報、経審対策のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求(99年2月号～)は弊社までご連絡下さい。弊社ホームページよりバックナンバーのダウンロードできます(2月号は2月28日より可能)。ログインIDは「1921」です。入力後、[ログイン]ボタンをクリックして下さい。ワイズホームページ <http://www.wise.co.jp/>